

第311回

日文研フォーラム

講師◎劉雨珍

南開大学外国語学院(中国)教授／日文研外国人研究員

筆談で見る明治前期の中日文化交流

モデレーター◎劉建輝

日文研副所長

司会◎佐野真由子

日文研准教授

2017年6月13日(火) 十八時三十分～二十時三十分 開場十八時二〇分頃
ハートピア京都3階大会議室

入場無料

先着一八〇名まで・申込み不要

International Research Center for Japanese Studies

The 311th Nichibunken Forum

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター



日文研30周年
NICHIBUNKEN 30TH ANNIVERSARY

日文研フォーラム

筆談で見る明治前期の
中日文化交流Sino-Japanese Cultural Communication in Early Meiji
as seen in "Conversation by Writing"

筆談は、筆話・筆語とも言い、漢字文化圏独特の交流手段です。歴史上、少なくとも二十世紀前半に至るまで、国や地域によって言語が異なっても、人々は漢字・漢文・漢詩を使って自由に交流することができました。東アジア文化交流史において、筆談が果たした役割の大きさは計り知れません。

本講演では、清国初代公使として明治十(一八七七)年から明治十五(一八八二)年まで日本に駐在した何如璋、副使の張斯桂、参贊官の黄遵憲らと、元高崎藩主の大河内輝声、漢学者の宮島誠一郎、石川鴻斎、岡千仞、増田貢、重野安繹、青山延寿らとの間で交わされた筆談を中心に、明治前期、東京を舞台に展開された中日文化交流の実態に迫ってみたいと思います。

講師 劉 雨珍 南開大学外国語学院(中国) 教授／日文研 外国人研究員



1987年、杭州大学日本語文学科卒業。1997年、神戸大学大学院文化学研究科博士課程修了。現在、南開大学外国語学院教授・日本研究院兼任教授、中国日本語教育研究会副会長、中華日本学会常務理事。2016年9月より国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。

専門分野は中日比較文学比較文化、中日文化交流史。主要著作に、『清代首屆駐日公使館員筆談資料彙編』(天津人民出版社、2010)、『日本古典文学史』(共著、北京言語大学出版社、2013)、『日本政法考察記』(共編著、上海古籍出版社、2002)など。

コメンテーター 劉 建輝 日文研 副所長



中国・遼寧大学外国語学部日本語科卒業。神戸大学大学院文化学研究科博士課程修了。中国・南開大学外国語学院日本語文学科助教授、北京大学比較文学・比較文化研究所助教授を経て、1999年4月より国際日本文化研究センター助教授に就任。2013年4月より教授、2016年10月より副所長。

専門分野は、日中比較文学、比較文化。主な著書に、『日中二百年——支え合う近代』(武田ランダムハウスジャパン、2012)、『増補・魔都上海——日本知識人の「近代」体験』(ちくま学芸文庫、筑摩書房、2010)など。

日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)が、来日中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、共有していただくことを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、月1回のペースで、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2

TEL: 075-335-2078

<http://www.nichibun.ac.jp/ja/>



京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄丸太町駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「丸太町」バス停下車

第312回 日文研フォーラム 2017年7月25日(火) 14:00~16:00

講師：ジラルデッリ 青木美由紀 イスタンブール工科大学 非常勤准教授補／日文研 外国人研究員

コメンテーター：井上 章一 日文研 教授